



Press Release

HBC 北海道放送株式会社

※「ガッチャンコ」とは…

「くっつける」「ひとつになる」という意味で使われる言葉。HBCが、人と人、地域と地域を「つなぐ」存在でありたいという願いがこめられています。

2024年12月13日(金)

2025さっぽろ雪まつり 大通会場7丁目

「HBC広場」大雪像

「北海道庁旧本庁舎～赤れんが庁舎～」に決定！

2025年2月4日(火)から11日(火・祝)に開催される「2025 さっぽろ雪まつり」(第75回)でHBC北海道放送は、管理運営する大通7丁目会場(HBC広場)において北海道を代表する建築物「北海道庁旧本庁舎～赤れんが庁舎～」の大雪像を制作します。

大通7丁目会場は、1974年から半世紀にわたり「国際交流広場」として海外建造物を制作してきましたが、今後は「時代や環境の変化に応じた多様な大雪像」を制作する会場に生まれ変わります。

2025年の大雪像となる赤れんが庁舎が産声を上げたのは、1888年。アメリカ風ネオ・バロック様式と呼ばれるれんが造りで、当時の道庁に在籍した技師らが設計を担当しました。80年以上ここ北海道の中枢として機能し、1969年には明治洋風建築物としての価値が評価され国の重要文化財に指定されました。現在では年間70万人超が訪れる北海道の代表的スポットとなり、国内外の人々に愛されています。

赤れんが庁舎は現在、改修工事中。2025年7月25日のリニューアルオープンに先立ち、7丁目会場では、陸上自衛隊北部方面システム通信群がこれまでに培った技術で庁舎のシンボル“八角塔”などを雪で再現します。



©HBC北海道放送

◇大雪像データ(予定) ※制作過程で若干変更が発生する可能性があります。

高さ : 地上12m、幅24m、奥行き16m、(いずれも台座を含む大きさ)

制作人員 : のべ約3200人(陸上自衛隊北部方面システム通信群)

制作期間 : 28日間(2025年1月7日～2月3日)

コピーライト : ©HBC北海道放送

模型制作 : 陸上自衛隊北部方面システム通信群

◇大通7丁目 「HBC広場」

企 画：HBC北海道放送

協 力：北海道

大雪像制作：陸上自衛隊北部方面システム通信群

【今年は5基の中雪像、2基の小雪像も制作】

会場には大雪像に加えて、公園東側に中雪像5基、小雪像2基を制作し広場を彩ります。

◆中雪像

高さ4.5～6m、幅6m、奥行5m(雪像デザインにより誤差あり)

- ・RX-78-2 ガンダム&GQuuuuuuX (ジークアクス) ©創通・サンライズ
- ・Identity V (第五人格) ©Joker Studio of NetEase All Rights Reserved.
- ・太田胃散公式 PR 大使 太田胃にゃん(滑り台付き) ©太田胃散

残る2基は後日発表します。

◆小雪像

高さ3m、幅3m、奥行3m(雪像デザインにより誤差あり)

- ・PUI PUI モルカー(滑り台付き) ©見里朝希/PUI PUI モルカー製作委員会

残る1基は後日発表します。

【お問い合わせ】

北海道放送 総務部(広報担当)

電話 011-232-5821(※平日 10:00～17:00)